

令和7年度開催 第43回草津市景観審議会 議事要旨

■日時：

令和7年6月30日（月）15時00分～16時35分

■場所

草津市役所5階 502会議室

■出席委員：

秋山委員（会長）、上田委員、北村委員、鞍野委員、関根委員、壽崎委員、西尾委員、福山委員、森川委員、横江委員

■欠席委員：

奥村委員、金澤委員、千葉委員、内記委員、村上委員

■事務局：

草津市都市計画部 一浦部長、安土総括副部長
都市計画課 川原課長、長谷川主査、岩井主任

■傍聴者：なし

■会議に付した事項：

議事1 色彩基準の検討について

議事2 くさつ百景の募集について（報告）

1. 開会

【一浦部長】 <開会あいさつ>

2. 審議会の公開・非公開について

当審議会の公開、非公開の取り扱いについて、事務局より説明。

草津市景観審議会は、草津市景観審議会の運営に関する事務処理要領第3条第1項に基づき、原則公開となっているが、同条に定める非公開事由に該当する場合は、会長が会議に諮り、非公開とすることができることとなっている。

会長より、当議事内容については非公開にする事由はなく、審議経過の透明性を確保する

という観点からも当審議会を公開にすべきと提案があり、委員一同了承。当審議会は公開で行うこととされた。

3. 議事概要

議事1については各委員の意見を踏まえて、今後の方向性を決定した。

また、議事2についても、くさつ百景の募集について、各委員の意見を踏まえて、事業を進めていくこととした。

主な意見および質疑は以下のとおり。

議事1 色彩基準の検討について

【事務局】

＜資料について説明＞

【委員】

草津市ではまちの景観と田園地帯の景観で大きく分けて2つあるので、色彩基準を作っていくのであれば、2つに分けるといいと思うが、現状の基準で困っていないのであれば、現状のままでいいと思う。

【委員】

現状の基準は30年前のものを使っていて、世代が変わると調和の感覚も変わってくるので、時間をかけてでも現在にあわせたおすすめ色と外して欲しい色というのは検討していいと思う。

【事務局】

今まで使っていた基準をベースにしつつ、県内他市の取り扱いも含めて整理をしていく。

【委員】

業者とかにも説明するときは色見本とかを使っていると思うが、「ぱれっと滋賀」の現物が無いことが問題であり、草津市版の復刻版のようなものを用意されると、今後楽になると思う。

【事務局】

検討したいと思う。

【会長】

それぞれの地域の特性に基づいた色があるので、それを包括するような基準でないといけないと思う。

【委員】

今の草津市の基準では、明度が高いところは少し危険かなと感じる。もちろん場所によって基準を区切るということは大事であるが、同じ彩度のところを見ていただくと、明度が高

いと、より鮮やかに感じるという人間の感覚もある。

【事務局】

Y系（黄色）の彩^{いろ}だと色見本を見ていても自然な色とを感じるが、R系（赤系）は浮いて見えるので、色相についてはもう少し調査が必要だと思う。

【委員】

大まかな考え方としては、黄色のみが許容範囲が広いという形で決めているところが多い。

議事2 くさつ百景について（報告）

【事務局】

<資料について説明>

【委員】

何年以内という一定の期間は設けた方がいいと思う。

【会長】

今回は、見られる場所がポイントであり、草津市から見た大津市等もOKとしている。

【事務局】

今回は、場所がメインとなり、場所の特定とどの向きで撮影したかまで入れてもらい、同じ場所で、同じ方向で見ると同じ風景が見ることができるようにしたい。

【委員】

写真の場所が、どこか分かるようにした方がいいのではないかな。

【事務局】

公開型GISに写真と位置を落とし込んでいくことで検討している。

【委員】

今回は数に拘らないということであるが、公開型GISでスポットを落とし込むとなると、同地点での応募が重複した場合、どの写真を選んだらいいのか分からなくなるかな。

【事務局】

詳細については、次回審議会時に決めていきたいと思う。

【会長】

年齢制限はないのか。

【事務局】

Instagramは利用の年齢制限があるが、市としては年齢制限を設けていない。

【委員】

子どもが危険な場所で撮影しないように具体的な募集要項では注意が必要だと思う。

【事務局】

検討する。

4. 閉会

【安土総括副部長】 <閉会あいさつ>